

鴨川市教育委員会 6 月定例会会議録

- 1 日 時 平成 27 年 6 月 23 日 (火) 開会 午後 2 時 00 分
閉会 午後 4 時 15 分
- 2 場 所 天津小湊支所 2 階会議室
- 3 出席委員 (1) 根本新太郎 (2) 村上修平 (3) 石井千枝
(4) 吉原里夏 (5) 野田 純
- 4 出席職員 (1) 庄司満治 (2) 石井利彦 (3) 吉田尚史
(4) 山口政美

5 委員報告

- ・吉原委員がら、5 月 23 日の鴨川小学校運動会の参観をしたこと、天候にも恵まれ、とてもよい運動会だった、特に応援合戦がすばらしかったとの報告がなされた。
- ・石井委員から、5 月 22 日安房地区教育委員会連絡協議会、27 日県教育委員会連絡協議会に出席したことの報告があった。講師の話の中で、中 1 ギャップの原因についての話があったが、その中で、中学校区の小学校の生活マニュアルを一本化するよう進めているとのことだった。私としては、各小学校には特色ある取り組みがあつてよいし、それをぶつけ合いながらよりよい生活を創っていくことが大切だと考える、子どもたちへの対応が過保護になっているように感じ、もっとたくましい子どもを育てたい、と考えたとのことであった。6 月 22 日、安房東中学校の所長訪問に出席したことの報告があり、長欠が 0 (ゼロ) であることはすばらしいこと、出席できないこの事情もしっかりつかむことが大切だと感じたこと、タブレット端末を使用した授業が 2 学級あつたが、使い方について今後さらに磨いていってほしいこと等の報告がなされた。
- ・村上委員から、5 月 23 日の小湊小運動会を参観したこと、保護者も揃いの T シャツを着てはりきっていたこと、運動会の日程は地域の事情を考慮したものになるとよいこと等の報告がなされた。
- ・根本委員長から、5 月 22 日に安房地区教育委員会連絡協議会に出席し、再度会長に選出されたこと、23 日に天津小学校の運動会を参観したこと、27 日に県教育委員会連絡協議会に出席したこと、6 月 3、8、9、11、24 日に定例市議会に出席したこと、17 日に安房地区教科書採択協議会に出席し、ここでも再度会長に選出されたこと、22 日午前に小湊小学校の所長訪問に参加、新校長、新教頭であつたが、

資料がよく整備されていたこと、午後の安房東中では、タブレット端末を使ったアクティブな学習を推進してほしいと思った等の報告がなされた。

6 教育長報告

- ・ 5月22日安房地区教育委員会連絡協議会での講師の話は統計でものをいう傾向があったが、地方の状況をもとに考える必要があること、いじめに関しては、互いの違いを認めることが大切であること、また、中学校区内の小学校においては共通実践も必要であるが、本来的には各学校の個性的な実践、個性的な育ちが重要であると考えていること等の報告がなされた。次に、市内小学校の運動会は予定通り実施されたこと、江見小、東条小は雨の影響があり、早朝4時、5時から整備が行われたことの報告がなされた。続いて、定例市議会では教育委員会への一般質問が久保議員、渡辺議員、福原議員、佐久間議員からあったこと、文教厚生常任委員会では陳情に関わって若干質問があったが、学校教育課長が答えたこと等の報告がなされた。最後に、13日、14日に江見、曾呂、天津の土曜スクールがあり、これですべてが開校式を終えることができたことの報告がなされた。

7 議 事

(1) 議案第1号「教育委員会の点検と評価について」

- ・ 庄司学校教育課長から、「教育委員会の点検と評価について」資料をもとに説明がなされた。
- ・ 根本委員長から、今後のスケジュールについての質問があり、教育委員の方々のご指摘をもとに検討を行い、7月に再度見ていただく機会を持つこと、最終的には9月議会前に議員の皆様へに配付し、確認を願うことになるとの説明がなされた。
- ・ 石井委員から、P3事業名・小中一貫教育の推進の4行目に、「家庭学習の予習化」とあるが、昨年度は家庭学習を予習に重点をおいて進めてきたのかという質問があり、野田教育長より、これについてはすべてを予習にするということではなく、教科、単元によって実施していくことや自力学習の力をつけていくこと、それをもとに、これまで以上に仲間と高め合う学習を進めていこうとするものであること、庄司学校教育課長より、昨年度の市教育政策研究委員会のテーマの一つであったこと、今年度は、昨年度の成果をもとに継続して研究を進め、教務主任を中心とした授業研究を実施すること、家庭学習の予習化は、新学習指導要領で重点とされる「アクティブラーニング」にもつながるものであるなどの説明がなされた。
- ・ 根本委員長から、鴨川市教育政策研究会とはどういうものかという質問があり、庄司学校教育課長より、鴨川市の小中学校の教職員が属し、鴨川市の教育実践を高め

ていこうとする会であること、教育政策研究委員会がその中心にあり、英語活動推進委員会やICT利活用推進委員会など、専門委員会を組織しているとの説明がなされた。

- ・根本委員長から、教育政策委員会がしっかりしていれば小中一貫教育を進めなくてもよいのではないかという質問がなされ、野田教育長から、小中一貫教育は、目的ではなく手段であり、子どもたちに生きる力をつけるための一つの方法であること、またそのためには様々な視点が必要であることから、専門委員会が組織されていること、専門委員会の中に学力向上推進委員会があり、鴨川市版漢字検定を小中で一貫して取り組んだことにより、全国学力学習状況調査の小学校国語Aの成績が向上したことなどの説明がなされた。
- ・石井委員から、鴨川市では「こども園」と名付けている幼稚園があるが、今度できる「認定こども園」とは異なるのかとの質問がなされ、庄司学校教育課長から、これまで設置されている鴨川市のこども園は、幼保一元化施設であり、幼稚園と保育園とが一つに施設に入っているもの、また、幼稚園に在園する幼児に対して、早朝、夕方の預かり保育を実施していること、野田教育長より、次年度より開園する認定こども園は、保育の面の充実が図られることになるとの説明がなされた。さらに石井委員より、認定こども園では、他の公立幼稚園と同じような教育がなされるのかという質問があり、野田教育長から、基本的には他の公立幼稚園と同じような教育を行ってもらうように協議していくこと、庄司学校教育課長から、今後、幼稚園教育について共通理解を図るための協議を進めていくことになること、また、地域の保護者に対して8月に保育・教育に関する説明会を開催する予定であることの説明がなされた。
- ・根本委員長から、P11に「通学バスの運行に係る市費が増加しているので、運行体制等を常に検証し、効率化を推進します。」とあるが市費が増加しているとはどういうことかという質問があり、庄司学校教育課長から、長狭学園、鴨川中学校と通学バス運行に係る市費が多く、27年度には江見幼小の通学・通園バスが加わり、さらに増加していく。そうした中で、例えば長狭小学校の通学バスについて、状況により貸し切りバスではなく、路線バスを使ってもらうことで市費の削減となる。こうした工夫を今後も検討していきたいとの説明がなされた。
- ・村上委員から、P4の「子どもたちの体力向上」について、通学バスを利用することで歩かない子どもが増えてくるなど、そういった子どもたちへの体力向上施策が必要になってくるのではないかという質問がなされ、教育長から、日常的に体を動かすこと、学校における体育指導を充実させることの必要性と、保護者の意識を高めていくことの重要性について説明がなされた。また庄司学校教育課長から、ポー

ルを投げる力の低下の問題が挙げられ、楽しみながら運動能力を高めることができるような対策を学校と共に考えていきたいとの説明がなされた。

- ・村上委員から、P 1 3の「公民館事業の充実」について、高齢化に伴う新たなニーズに対応した公民館事業の充実を図ることとあり、この地域の特徴として高齢者であっても働いている方も多くいる中で、そうした方々を対象とした生涯学習事業のメニューづくりは今後どうしていくのかという観点を持ってほしいとの要望があり、石井生涯学習課長から、高齢者に人気のある事業は、高齢者だけの世帯が増えてきていることもあり、同じ年代の方々同士で市外にバスを使って出るものに需要が高いこと、加えて、高齢者にはできるだけ外に出て活動してもらえよう事業を今後も考えていきたいとの説明がなされた。
- ・野田教育長から、成果の表現として「～しました」のような表記が多いが、その結果どうなったかというところまで記載してほしいとの指摘があった。
- ・村上委員から、多目的施設についての記述があまり見当たらないがなぜかという質問があり、吉田スポーツ振興課長から、26年度中は基本構想の段階であり、設計もできていない段階なので、具体的な記載になっていないとの説明がなされた。
- ・他に質疑なく、全員の了承が得られた。加えて、根本委員長から、今後さらに気づいたことがあれば教育委員会事務局に連絡することとするとの話があった。

(2) 議案第2号「鴨川市就学援助費支給規則の一部を改正する規則の制定について」

- ・庄司学校教育課長から「鴨川市就学援助費支給規則の一部を改正する規則の制定について」資料をもとに説明がなされた。
- ・石井委員から、要保護児童生徒援助費補助金との記載があるが、対象は生活保護家庭の子どもが対象なのかとの質問があり、庄司学校教育課長から、要保護、準要保護児童生徒が対象となるとの説明がなされた。加えて、石井委員より、この援助費は学校に直接行くのかとの質問があり、庄司学校教育課長から、現在は銀行振り込みとなっており、一部学校から渡される場合があるとの説明がなされた。
- ・根本委員長から、援助費の金額の水準は近隣の市と比較してどうなのかという質問があり、庄司学校教育課長から、ほぼ同じ水準となっているとの説明がなされた。
- ・質疑なく、全員の了承が得られた。

8 その他

- (1) 各課長から「7月の教育委員会行事予定」について、資料をもとに説明がなされた。
- (2) 庄司学校教育課長から、平成27年度所長訪問・計画訪問の日程について説明がなされた。
- (3) 吉田スポーツ振興課長から、「鴨川市多目的施設建設基本構想・基本計画（概要版）」について資料をもとに説明がなされた。
- (4) 庄司学校教育課長から、次回、7月の定例教育委員会議終了後に、第1回総合教育会議を開催することの連絡がなされた。

根本教育委員長は、一切の審議の終了を告げ、閉会を宣言した。

以上、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

平成27年7月21日

鴨川市教育委員会 委員長

委員長職務代理者

会議録作成者 庄司 満治